

ALMA (アルマ) 公開講演会 「宇宙の謎を解明するのは君たちだ！ ー世界中の 国々が共同で建設するアンデス巨大電波望遠鏡ー」

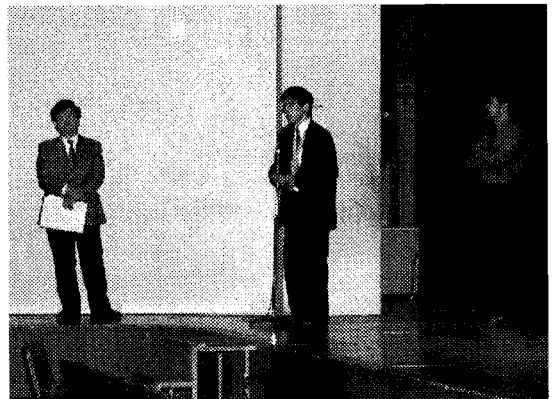
宮 脇 亮 介

〈福岡教育大学 〒811-4192 福岡県宗像市赤間 729-1〉
e-mail: miyawaki@fukuoka-edu.ac.jp

昨年引き続き、ALMA (アルマ) の実現に向けて一般の方々に ALMA のことを理解していただくための講演会を、10月27日に福岡で開催しました。その講演会の様子を紹介いたします。

日・米・欧の三者による ALMA (アルマ) 計画が実質的にスタートし、国際共同建設が実現しようとしています。2006年の部分運用、2011年の本格運用に向けて ALMA 準備室のスタッフをはじめとする日本中の電波天文学関係者がその実現に向かって日々努力しています。ALMA (アルマ) 計画を推進するにあたって研究者や関連の人たちの役割は大変重要ですが、この計画のような巨額の建設資金を要する巨大科学は、国民が理解を示す必要があります。一般の方々に ALMA (アルマ) 計画のことについて知っていただくために、昨年の東京都千代田区の科学技術館サイエンスホールでの講演会に続いて、今年は福岡で10月27日(土)の午後1時30分より5時まで福岡市中央区の福岡市立少年科学文化会館ホールにて多くの参加者のもと講演会を開催しました。今回は山本 智氏(東京大学)、阪本成一氏(国立天文台)と私(宮脇亮介)が企画を担当いたしました。

開催にあたっては、福岡市立少年科学文化会館(福岡市教育委員会)の協力によりホールを借りることができました。福岡市立少年科学文化会館ホ



質問の時間の様子(右から山本氏、半田氏、川辺氏)

ールは座席数764とたいへん大きな会場でしたので、会場が大きすぎたかもしれないという不安はありましたが、ステージが極端に高いということもなく、客席との双方向のコミュニケーションが可能でした。参加者については、福岡市立少年科学文化会館でもこのような講演会は開催したことがなく、我々もどの程度資料を用意すべきか悩みましたが、参加しやすい方法ということで、今年は当日参加という形をとりました。宣伝については福岡市立少年科学文化会館の全面的な協力により福岡市内の小中学校約200校と図書館などにポスターおよびチラシを配布し、「市政だより」や福岡市営地下鉄の「沿線のイベント」にも掲載していただきました。

講演会は、山本智氏の司会により、私が「はじめに」ということでALMA(アルマ)計画についての簡単な説明をいたしました。続いて東京大学

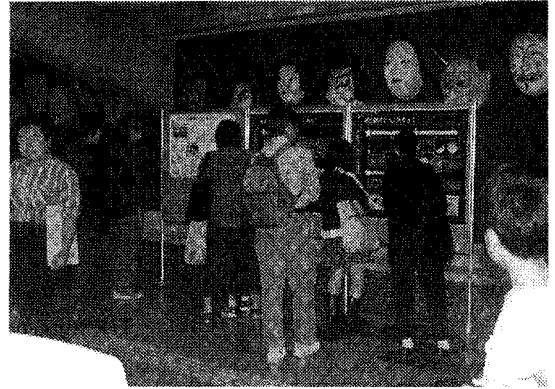


会場の福岡市立少年科学文化会館ホール

の半田利弘氏が「真空でない宇宙～星々の舞台裏を探る電波天文学～」という演題で、宇宙のスケールについてコンピュータソフトウェアを用いた説明により福岡市内からスタートし、太陽系のスケールを参加者に知ってもらった後、太陽系を飛び出しての宇宙を見せてくれました。そして、電波天文学がどのような宇宙をみているのかを説明してくれました。

休憩をはさんで、国立天文台の川辺良平氏には「星はすばる、星くずはアルマ」という演題で、すばるで見える宇宙とその成果についての説明の後、ALMA（アルマ）で見えるミリ波・サブミリ波の宇宙についての説明と、ALMA（アルマ）の目指すサイエンスについてお話をいただきました。

今回も講演会の最後に質問の時間を多めに設定し、いろいろな質問にお答えしました。「天文学者になりたいのですがどうしたらいいですか?」、「宇宙における生命体の可能性について」、「最近クエーサーのことを知りましたが、ALMA（アルマ）では観測対象なのですか?」などなど素朴なものから専門的なものまで予定していた時間をオーバーして講演者も親切に答えていました。福岡ばかりではありませんが、一般市民がこのような講演を聴く機会は少ないので、参加者にとっては大変満足のいく講演会だったようです。また、休憩時間や講演終了後に講演者自らによるALMA（アルマ）について説明するポスターやサイトの5万分



講演終了後のALMA（アルマ）の説明ポスターの前で

の1の立体地図（地図を等高線で切り、重ね合わせたもので私が作成しましたが、作成にはとても時間がかかりました。作成している間に実際のサイトの様子がイメージでき、このようなものは一般の人はもちろん我々にも必要なことを実感しました。）の前での説明も参加者には大変好評だったようです。ただ、多めの時間を設定したにも関わらず、たくさんの質問があり時間の都合上全てにはお答えすることができませんでした。これまでの講演会なども含めてALMAに関する質問についてはALMA（アルマ）のホームページ（<http://www.nro.nao.ac.jp/alma>）に掲載する予定です。次回の講演会は仙台市で開催する計画です。

今回の講演会は我々が企画いたしました。科学館などで是非ALMA（アルマ）についての講演を行いたいという方がいましたら、どうぞ気軽にお問い合わせ下さい。

最後に、この講演会は今年も国立天文台の広報室の皆様をはじめとして多くの方の多大な援助のもとに開催できたことを世話人一同感謝いたします。特に、盛多氏をはじめとする福岡市立少年科学文化会館のスタッフの方々には大変お世話になりました。